

たより

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8

TEL：0173-57-9022

E-mail：t_gjyutu_c@maff.go.jp

HP：http://www.rinya.maff.go.jp

/tohoku/syo/gizyutu/

4月1日付け人事異動 着任のご挨拶

4月1日付け人事異動により、森林技術・支援センター所長を拝命した本間です。当センター勤務は初めてとなりますが、よろしく申し上げます。

さて、新たな「森林・林業基本計画」では、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げ、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」に向けた取組を展開していくこととしており、林業従事者の所得と労働安全の向上を図りつつ、「長期にわたる持続的な経営」に取り組むこととしております。



【所長 本間 家正】

当センターでは「新しい林業」に向けた取組のほか、公益的機能の高度発揮のための森林施業及び保全技術の確立、効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の確立を基本目標にした技術開発を行っており、現在、以下の4つの技術開発課題に取り組んでおります。

- ①多雪・寒冷な気候の東北地方において、低コスト造林が期待される「コンテナ苗の大苗」の特性を明らかにし、実用化に向けた検証。
- ②ヒバ天然林の林分状況に応じた施業の実施に向け、択伐及び間伐後の施業効果を検証するため、継続した成長量等の調査。
- ③再造林樹種として需要が高まっているカラマツ種苗不足の解決のため、カラマツ挿し木コンテナ苗の実用化に向けた植栽試験。
- ④寒冷な東北地方でも良好な成長を示す早生樹（ユリノキ）について、植栽試験した試験地における定期的な生長量の調査。

令和5年度はこの4つの課題について、東北森林管理局管内に設定した各試験地で、管轄の森林管理署等職員、各県の機関、岩手大学、森林総合研究所東北支所及び東北育種場などの研究機関の協力を得ながら調査を進め、東北地方の地域特性に適した森づくりの技術開発や、民有林への技術支援に取り組んでまいります。

早生樹（ユリノキ）の更新特性等と需給実態について（新規課題）

当センターでは、令和5年度からの新規課題として「早生樹（ユリノキ）の更新特性等と需給実態について」というテーマで調査していく予定です。それでは、本課題を調査することになった経緯等について触れていきたいと思います。

○ユリノキとは？

ユリノキは、モクレン科ユリノキ属の落葉広葉樹であり、原産地は北アメリカです。日本には明治初期に導入され、主に街路樹や公園木として利用されています。



ユリノキの花



ユリノキの葉



ユリノキの集合果



ユリノキの種子

また、特徴として、通直性や耐寒性のほか、病害虫への高い耐性が報告されており、木材としては加工がしやすく、合板や家具、楽器など、幅広い用途で使用されています。

○なぜ早生樹（ユリノキ）なのか？

現在、日本の人工林が本格的な利用期を迎えており、森林資源の循環利用が重要な課題となっています。しかしながら、木材販売収入のみでは、再造林経費を賄うことが困難な状況であり、森林所有者の収益向上へ向けて、育林経費の低コスト化や、投資回収期間の短縮が求められています。

このような中、当センターでは、従来の造林樹種と比較して成長に優れ、短期間で収穫できる「早生樹」に注目し、平成28年度から令和2年度までの5年間で「早生樹を使用した施業モデルの構築」と題し、短期間で収穫できる早生樹の生長特性等について実証しました。

その結果、東北地方においてユリノキが良好な成長を示すことが確認され、^{ほうが}萌芽更新※力が旺盛で伐採後の天然更新が容易なことが分かりました。

○今後の調査について

ユリノキが多雪・寒冷な東北地方の林地でも良く成長し、^{ほうが}萌芽更新が可能なことが分かりましたが、ユリノキの種子の飛散距離を調査したところ、樹高の4～5倍程度（最大で90m）という結果になりました。冒頭でも述べましたとおり、ユリノキは外来種ですので、隣接する林地への影響についても検証していく必要があります。また、ユリノキは、欧米では家具材・内装材などに使用する目的で流通しています。取引価格や需給実態については、国内での取引も含め、造林樹種としての実用化に向けて、調査をする必要があります。

以上のように、今後は、ユリノキの^{ほうが}萌芽枝の成長や^{みしょう}実生更新による分布域の拡大を検証するとともに、植栽適地や有効な育林技術の検証、造林樹種としての利用の可能性を評価し、東北地方におけるユリノキの施業案をとりまとめ、その普及を目指していきます。

（業務係長 岡本）

注：※ 伐採後の切り株や、根元から生えた芽を育て、森林の再生を図ること



米代東部署 ユリノキ試験地（4年生時）



切り株から成長した^{ほうが}萌芽

❖ お世話になります ❖

～ 令和5年4月1日付け人事異動（内示）～

- ・ 副所長 鈴木 春美（前職：計画保全部計画課計画調整官）
- ・ 企画係 加藤 諒介（前職：朝日庄内森林生態系保全センター）

～編集後記～

今年度から「センターたより」担当となりました加藤と申します。初めての担当ではありますが、より良い紙面作りに努めて参りますので、今後ともよろしく願っています。

